

「ピタゴラスイッチ」や、通称「やる気のないダースベイダーのテーマ」などでおなじみ

栗コーダーカルテットが、素敵な仲間と共にインドネシアの笛と太鼓の名手、ラオスの愉快な劇団を迎えてお贈りします!

# 栗コーダー&フレンズ

## JAPAN TOUR 2018 FINAL!!

日常の身のまわりにあるものを使って身体で表現するラオスのオブジェクトシアター四人組のカオニャオ。

インドネシアの伝統的かつ先鋭的な打楽器奏者ヘンドリックと、伝統音楽の宝庫、西スマトラ州パダンで育った笛の名手ドウェン。

2カ国6名のアーティストとの共演を含む、幻想的かつユーモラスな世界が楽しめるホール公演です。



ビューティフルハミングバード

知久寿焼

吉澤実

劇団カオニャオ ヘンドリック・ウィス・グロホ ドニー・アンキリー

チケット発売: 1月10日(水)、イープラスは1月13日(土)より

### 2018年3月23日(金) 江東区文化センター ホール



昼、夜2公演をご家族一緒にお楽しみ下さい!

**昼のおやこの部** (公演時間約50分) 開場13:30 / 開演14:00~

料金[前売] 友の会1,350円 / 大人1,500円 / 子供1,000円(中学生以下)

\*全席指定 \*当日各500円増 / (2才以下、膝上無料)

**夜のオトナの部** (公演時間約100分) 開場18:30 / 開演19:00~

料金[前売] 友の会2,250円 / 大人2,500円 / 子供1,000円(中学生以下)

\*全席指定 \*当日各500円増 / (未就学児不可)

チケット取扱: 江東区文化センター、ティアラこうとう、  
江東区内文化センター、深川江戸資料館  
e+イープラス

インターネット (PC)<https://www.kcf.or.jp/yoyaku/ticket/>  
(携帯)<http://www.kcf.or.jp/keitai>

お問い合わせ: 江東区文化センター 03-3644-8111

主催: 栗コーダーカルテット  
共催: 公益財団法人江東区文化コミュニティ財団 江東区文化センター  
助成: 国際交流基金アジアセンター、  
アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)  
後援: NBCユニバーサル・エンターテイメントジャパン、駐日ラオス大使館

ASIAcenter  
JAPAN OVERSEAS

ARTS COUNCIL TOKYO

the **KURICORDER QUARTET & FRIENDS** are



栗コーダーカルテット



**栗原正己**

(くりはらまさき)

ソプラノリコーダー、  
ピアノ、  
アンデスほか

**川口義之**

(かわぐちよしゆき)

アルトリコーダー、  
サクソ、ボーラン、  
ウクレレほか

**関島岳郎**

(せきしまたけろう)

グレートバスリコーダー、  
テューバ、口琴ほか

NHK Eテレ「ピタゴラスイッチ」や、通称「やる気のないダースベイダーのテーマ」などでもお馴染みのインストゥルメンタル・バンド。映画、テレビ、CMへの楽曲提供を含め、参加CDは100を超える。近年は全国のコンサートホールなどで年間100本を超える公演を行い、あらゆる世代から歓迎されている。2011年よりヨーロッパツアー、東南アジアツアーを開始。2014年に20周年コンサートを渋谷公会堂にて開催。2015年より3人編成に移行。同年から栗コーダー&フレンズとしてタイ、ラオス、ミャンマー、ベトナム、インドネシアとの文化交流プロジェクトを展開。2016年に栗コーダー&フレンズ名義の「おさるのかごや/砂山」、谷山浩子とのコラボレーションアルバム「ひろコーダー☆栗コーダー」、2017年に日ラオス国交樹立60周年記念・日ラオス初の合作映画「ラオス 竜の奇跡」のサウンドトラックをリリース。

ビューティフルハミングバード



小池光子(こいけみつこ) :うた、ピアノ、グロッケンほか  
タバティ:ギター、ウクレレ、テナーリコーダーほか

小池光子、タバティによる音楽ユニット。作詞作曲をふたりで行う。のびのびと広がる小池の歌声と、強くやさしいタバティのギターが持ち味。2003年のデビュー以来、CDのリリースや、全国各地でのコンサートを行っている。2011年冬、NHKみんなのうた「ウメボシジンセイ」を担当。NHK Eテレおかあさんといっしょ2018年1月のうた「もくもくふゆーん」を作曲。メディアでの活動、CMソングにも多数参加している。

知久寿焼 (ちくとしあき)



うた、ギター、ウクレレ、ハーモニカ、口琴ほか

1984年バンド「たま」を結成。1990年シングル「さよなら人類」でメジャーデビュー。オリコン初登場1位。同年NHK紅白歌合戦へ出場。「たま現象」と呼ばれる社会現象的な人気となる。2003年のバンド解散以降は、バスカルズへの参加などを含めた活発なソロ活動を行う。つぎの研究者としても有名。

吉澤実 (よしざわみのる)



リコーダー、フルートほか

武蔵野音楽大学卒業後、ザルツブルク・モーツァルテウム音楽大学リコーダー科を卒業。ソリスト・ティプロマを得る。帰国後11年間NHK教育テレビ「ふえはうたう」(1986-1997)講師、NHK-TV「趣味悠々」(2001、2009)講師。現在、武蔵野音楽大学、東京芸術大学非常勤講師。国内外で多くのコンサート、映画、テレビ、コマーシャル等の録音の他、海外のNPOやJICAで活動。リコーダーアンサンブルLa Stradaを主宰し現代作品の委嘱初演を継続して行う。

劇団カオニャオ (fromラオス)



いま欧米、そしてアジアの各国から注目されている、現代人形劇団。森の国ラオスの、豊かな自然素材や日常生活用具などを用いた自由な発想溢れる作品を上演。ヨーロッパの先進的な表現手法にインスピレーションを得ながらも、自国の自然と生活文化、そして伝統的な精神世界に根ざした活動で存在感を発揮している。

ドニー・アンキリー (fromインドネシア)



スマトラ島の伝統音楽の宝庫の一つ、西スマトラ州パダンで育ち、10才から音楽を始める。1997年から伝統音楽を下敷きにしながらワールドミュージックとして新しく展開する音楽活動を本格的に始める。インドネシア各地の伝統音楽(特に管楽器・打楽器)を学び、ジャカルタの殆どのエスニック音楽グループやバンドのアルバム制作やコンサートに数多く参加している。

ヘンドリックス・ウィスヌグロホ (fromインドネシア)



1998年にパーカッション・ファンクバンドTORを結成。2000年から2013年にかけてインドネシアの人気レゲエミュージシャンTony Q Rastaffaraのバンドに参加。現在は自身の率いる5人編成のパーカッショングループ「Ndjagong Perkusi」を主催。スタジオ・ミュージシャンとして多くのアーティストの作品に参加している。